

I 令和元年度事業報告

1 会員の異動

令和2年3月31日現在の会員数は下表のとおりである。

府県別 会員別	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	近畿以外	合 計
個人会員	18(-1)	34(-1)	24(-3)	32(0)	11(-3)	40(+2)	18(0)	177(-6)
単 協	0(0)	6(0)	1(0)	2(0)	0(0)	1(0)	0(0)	10(0)
中央会	13(0)	5(0)	16(-3)	25(-1)	7(-3)	14(-1)	0(0)	80(-8)
連合会	0(0)	17(0)	1(0)	1(0)	3(0)	25(+3)	0(0)	47(+3)
府県庁	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
大学等	5(-1)	5(-1)	6(0)	4(+1)	1(0)	0(0)	18(0)	39(-1)
団体会員	13(0)	9(+1)	13(0)	13(0)	3(0)	10(0)	16(0)	77(+1)
単 協	9(0)	5(+1)	9(0)	9(0)	1(0)	6(0)	0(0)	39(+1)
中・連合会	4(0)	4(0)	4(0)	4(0)	2(0)	4(0)	0(0)	22(0)
全国連	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)	5(0)
準会員	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	11(0)	11(0)
合 計	31(-1)	43(0)	37(-3)	45(0)	14(-3)	50(+2)	34(0)	254(-5)

注) () 内は、前年度末会員数との増減を示す。

2 令和元年度に開催した研究例会・研究大会

当初の事業計画のとおり、研究例会2回および創立60周年記念大会を開催した。

今年度の研究会は、年間統一テーマを「持続可能なJA経営基盤の確立・強化方向－創造的自己改革の実践－」として、「農協改革」をはじめ、JAをめぐる厳しい経営環境に対応し、第28回JA全国大会決議等を踏まえて、今後のJA改革の展開方向をめぐって研究会活動を展開した。

研究例会の具体的なテーマとして、営農・経済事業の事業モデルの転換、信用事業の事業モデルの転換を取り上げた。研究大会は、今年度が創立60周年を迎えることから創立60周年記念大会に代えて実施した。記念大会では、年間統一テーマを受けて、持続可能なJA経営基盤の確立・強化方向に向けた、創造的自己改革のさらなる実践方策について幅広く研究・討議した。

(1) 研究例会

回数	開催月日 開催場所	研究会テーマおよび 座長とコメンテーター	報告テーマと報告者	出席 者数
第1回 例 会 通算第 263回 研究会	令和元年 7月24日 (水) 神戸市 兵庫県 農業会館	「営農・経済事業の事業モデルを どう転換するか」 (座長) 神戸大学名誉教授 高田 理 氏 (コメンテーター) 和歌山県農業協同組合中央会 総合企画部 部長 谷口 昌明 氏 奈良県農業協同組合 常務理事 北村 仁 氏	報告Ⅰ 「わがJAの営農・経済事業改革 の取り組み」 兵庫県 兵庫みらい農業協同組合 代表理事副組合長 前田 久至 氏 報告Ⅱ 「JA経営改革のあり方の再検討 －営農・経済事業の事業モデル の転換をめぐって－」 広島大学大学院 統合生命科学研 究科 助教 小林 元 氏	51名
第2回 例 会 通算第 264回 研究会	令和元年 11月5日 (火) 和歌山市 和歌山県 JAビル	「信用事業の事業モデルをどう転換するか －デジタルイノベーション時代のJA の未来像を考える－」 (座長) 立命館大学経済学部 招へい教授 滋賀県立大学名誉教授 増田 佳昭 氏 (コメンテーター) 和歌山県 紀の里農業協同組合 常務理事 岩上 昌義 氏 大阪府信用農業協同組合連合会 システム統括部 部長 武田 裕文 氏	報告Ⅰ 「デジタルイノベーションに向け た取り組み」 農林中央金庫 執行役員デジタル イノベーション推進部長 荻野 浩輝 氏 報告Ⅱ 「わが国総合農協のビジネスモデ ルの未来像と信用事業の役割」 京都大学 学術情報メディアセン ター 研究員 三重大学名誉教授 石田 正昭 氏	89名

(2) 研究大会（通算265回研究会）

創立60周年記念大会として実施した（3 参照）。

3 創立60周年記念事業の実施概要

創立60周年記念事業を下記のとおり実施した。

(1) 創立60周年記念大会(通算265回研究会)の開催

- ①日時：令和2年1月28日(火) 13:00～16:50
- ②会場：エル・おおさか 南1023
- ③テーマ：創造的自己改革のさらなる実践－持続可能なJA経営基盤の確立・強化に向けて－
- ④内容：
 - 代表者挨拶 近畿農業協同組合研究会 代表者 増田 佳昭
 - 歓迎の挨拶 大阪府農業協同組合中央会 専務理事 山本 貞徳 氏
 - 座長解題・基調報告
 - 「『農協改革』の評価と新時代を迎えた総合JAの使命と役割」
 - 福井県立大学 経済学部 教授 北川 太一 氏
 - 報告Ⅰ「わがJAの自己改革の取り組み経過と今後の改革方向－JA経営基盤強化に向けて－」
 - 神奈川県 秦野市農業協同組合 専務理事 宮永 均 氏
 - 報告Ⅱ「わがJAの自己改革と経営構造改革の取り組み－JA経営基盤強化に向けて－」
 - 香川県農業協同組合 代表理事理事長 木内 秀一 氏
 - 総括討論 座長福井県立大学 経済学部 教授 北川 太一 氏
 - コメンテーター
 - 京都大学大学院 農学研究科 特定助教 川崎 訓昭 氏
 - 滋賀県 甲賀農業協同組合 代表理事専務理事 田村 安佐 氏

⑤出席者数：56名(関係者を含む)

(2) 『研究会60年のあゆみ』の作成

- 研究会創立60周年を迎えて 近畿農業協同組合研究会 代表者 増田 佳昭
- 研究会が還暦を迎え思うこと 京都大学名誉教授 第5代研究会代表者 藤谷 築次
- 研究会創立60周年を迎えて 近畿農業協同組合研究会 顧問 小池 恒男
- 研究会のあしあと
 - ・近畿農協研究会 開催記録
 - ・歴代運営委員・顧問・監事・事務局員名簿
 - ・個人別・団体別会員数と財政規模の推移
 - ・近畿農協研究会 会則 運営委員・監事選出規定

(3) 「近畿農協研究会の『還暦』を祝う集い」の開催

創立60周年を迎えるにあたり、代表者の増田佳昭を実行委員長とする実行委員会のもと、「近畿農協研究会の『還暦』を祝う集い」を下記の通り開催した。

- ①日時：令和2年2月7日(金)
- ②場所：ホテル京阪京都グランデ
- ③内容：第1部 祝辞・記念講演
 - 開会の辞
 - 祝辞・祝電披露
 - 記念講演「研究会創立時の思い出と研究会への問題提起」
京都大学名誉教授・第5代研究会代表者 藤谷 築次 氏
- 第2部 懇談会
- ④参加者数：32名(関係者を含む)

【参 考】 令和元年度研究例会・研究大会出席者数の内訳

		総 数	近畿内・近畿外別		所属別		
			近畿内	近畿外	単 協	中央会 連 合 会	研究者等
第 1 回 例 会	実 数 (人)	51	47	4	12	30	9
	構成比 (%)	100.0	92.2	7.8	23.5	58.8	17.6
第 2 回 例 会	実 数 (人)	89	82	7	33	42	14
	構成比 (%)	100.0	92.1	7.9	37.1	47.2	15.7
創立60周年 記念大会	実 数 (人)	56	45	11	20	22	14
	構成比 (%)	100.0	80.4	19.6	35.7	39.3	25.0
合 計	実 数 (人) (1回当たり)	196 (65)	174 (58)	22 (7)	65 (22)	94 (31)	37 (12)
	構成比 (%)	100.0	88.8	11.2	33.2	48.0	18.9

4 会報の発行等

(1) 会報の発行

本年度分の会報の発行は下表のとおりである。

会報番号	テーマ	発行年月	発行部数	備考
263	「営農・経済事業の事業モデルをどう転換するか」	令和元年10月	320	令和元年度 第1回研究例会記録
264	「信用事業の事業モデルをどう転換するかーデジタルイノベーション時代のJAの未来像を考えるー」	令和2年1月	320	令和元年度 第2回研究例会記録
265	「創造的自己改革のさらなる実践ー持続可能なJA経営基盤の確立・強化に向けてー」	令和2年4月	320	創立60周年記念大会記録
—	研究会60年のあゆみ	令和2年2月	320	創立60周年記念号

(2) ホームページの運営

平成26年度から運用しているオリジナルホームページを通じて、例会・大会の開催案内をはじめとする情報発信を行うとともに、各府県農協中央会の協力を得て、近畿地区の四季の風景をトップページに活用し、魅力あるページづくりを行った。その結果、ページ閲覧数は6,306PV（平成31年4月1日～令和2年3月31日）であった。

また、研究会ホームページの信頼性および安全性の強化を目的にSSL証明書を取得し、令和2年2月3日より、ホームページのURLが下記のように変更となった。

旧URL：http://www.kinkinouken.jp/

新URL：https://kinkinouken.jp/（令和2年2月3日～）

5 研究会運営記録

開催月日	会議名	会場	報告および協議事項
令和元年 5月10日(金)	第1回 事務局会議 出席：8名	滋賀県農業教育 情報センター	①第1回運営委員会の出欠報告状況について ②運営委員の変更について ③平成30年度事業報告について ④平成30年度収支決算報告について ⑤令和元年度事業計画について ⑥令和元年度予算計画について ⑦第1回研究例会開催要領について ⑧ホームページのスライド画像の更新について
5月16日(木)	第1回 運営委員会 出席：21名 うち、 委：14名 代：1名	滋賀県農業教育 情報センター	①運営委員の変更について ②平成30年度事業報告の承認について ③平成30年度収支決算報告の承認について ④監事の意見について ⑤令和元年度事業計画の承認について ⑥令和元年度予算計画の承認について ⑦第1回研究例会開催要領について ⑧60周年記念事業について
6月28日(金)	—	—	第1回会費の納入期限 近畿府県中央会・連合会個人会員取りまとめ期限

開催月日	会議名	会場	報告および協議事項
7月8日(月)	第2回 事務局会議 出席：10名	滋賀県農業教育 情報センター	①事務局員の変更について ②会員の異動について ③第1回研究例会の参加申込状況について ④第1回研究例会の運営について ⑤第2回運営委員会の出欠報告状況について ⑥運営委員の変更について ⑦第2回研究例会の開催要領について ⑧開催要領配布先の見直しについて ⑨60周年記念事業について
7月24日(水)	第1回 研究例会	兵庫県農業会館	テーマ「営農・経済事業の事業モデルをどう転換するか」
	第2回 運営委員会 出席：22名 〔うち、 委：8名 代：1名〕	兵庫県農業会館	①運営委員・監事の変更について ②第1回研究例会の参加者数について ③会員の異動について ④第2回研究例会の開催要領について ⑤60周年記念事業について
7月31日(水)	—	—	第2回会費の納入期限 (近畿地区中央会・連合会個人会員)
9月30日(月)	—	—	会費の納入督促(第1回)
10月25日(金)	第3回 事務局会議 出席：10名	滋賀県農業教育 情報センター	①事務局員の変更について ②会員の異動について ③第2回研究例会の参加申込状況について ④第2回研究例会の運営について ⑤ホームページのスライド画像の更新について ⑥第3回運営委員会の出欠報告状況について ⑦ホームページのSSL化について ⑧創立60周年記念大会開催要領について ⑨「近畿農協研究会の還暦を祝う集い」について ⑩「60周年のあゆみ」の編集について
11月5日(火)	第2回 研究例会	和歌山県JAビル	テーマ「信用事業の事業モデルをどう転換するか ーデジタルイノベーション時代のJAの未来像を考えるー」
	第3回 運営委員会 出席：22名 〔うち、 委：14名 代：0名〕	和歌山県JAビル	①運営委員・監事の変更について ②第2回研究例会の参加者数について ③会員の異動について ④創立60周年記念大会の開催要領について ⑤ホームページのSSL化について ⑥「近畿農協研究会の還暦を祝う集い」について ⑦60周年のあゆみの編集について

開催月日	会議名	会場	報告および協議事項
令和2年 1月17日(金)	第4回 事務局会議 出席：9名	滋賀県農業教育 情報センター	①会員の異動について ②会費の納入状況について ③会報の発行状況について ④創立60周年記念大会の参加申込について ⑤「近畿農研の『還暦』を祝う集い」の参加申込状況について ⑥創立60周年記念大会の参加申込状況について ⑦創立60周年記念大会の運営について ⑧ホームページのスライド画像の更新について ⑨第4回運営委員会の出欠報告状況について ⑩ホームページのSSL化について ⑪役員改選について ⑫顧問・運営委員アンケートについて
1月28日(火)	創立60周年 記念大会	エル・おおさか	テーマ「創造的自己改革のさらなる実践－持続可能なJA経営基盤の確立・強化に向けて－」
	第4回 運営委員会 出席：20名 〔うち、 委：11名 代：0名〕	エル・おおさか	①60周年記念大会の参加者数について ②会員の異動について ③会費の納入状況について ④会報の発行状況について ⑤「近畿農研の『還暦』を祝う集い」の申込状況について ⑥ホームページのSSL化について ⑦役員改選について ⑧顧問・運営委員アンケートの実施について
1月31日(金)	—	—	会費の納入督促（第2回）
2月7日(金)	近畿農協研 究会の「還暦」 を祝う集い 出席：32名	ホテル京阪京都 グランデ	第1部 祝辞・記念講演 ①開会の辞 ②祝辞・祝電披露 ③記念講演 第2部 懇談会
3月26日(木)	第5回 事務局会議 出席：11名	滋賀県農業教育 情報センター	①令和元年度事業報告について ②令和元年度決算報告について ③ホームページのスライド画像の更新について ④次年度の研究会運営に向けて ・顧問・運営委員アンケート結果について ・研究例会・大会参加者アンケート結果について
4月2日(木)	監事監査	滋賀県農業教育 情報センター	令和元年度事業報告・収支決算報告の監査並びに帳簿等の監査
4月3日(金)	監事監査	J A 共済連京都 仮事務所	令和元年度事業報告・収支決算報告の監査並びに帳簿等の監査

注1) 運営委員会の定足数は、定数22名の過半数である。

2) 運営委員会の出席者数は、顧問・監事・事務局長を除いた運営委員のみの出席者数（委任状及び代理出席を含む）を示している。また、（ ）内の「委」は委任状を、「代」は代理出席を表している。

Ⅱ 令和元年度収支決算報告

1 収支決算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額 (a)	決 算 額 (b)	比較増減額 (b - a)	摘 要
会 費	3,023,000	3,007,000	-16,000	
全国連会費	440,000	440,000	0	注1) 参照
府県連会費	1,100,000	1,100,000	0	注2) 参照
単協会費	649,000	649,000	0	注3) 参照
個人会費	724,000	708,000	-16,000	注4) 参照
準会員会費	110,000	110,000	0	注5) 参照
会報頒布収入	20,000	8,000	-12,000	
資料代収入	500,000	404,000	-96,000	
雑収入	1,000	1,077	77	注6) 参照
前年度繰越金	868,517	868,517	0	
合 計	4,412,517	4,288,594	-123,923	

注1) 110,000円×1団体、100,000円×1団体、90,000円×1団体、70,000円×2団体

注2) 50,000円×22団体(府県連12+府県本部10)

注3) 36,000円×1団体、25,000円×1団体、18,000円×4団体、15,000円×2団体、
12,000円×3団体、農業開発研修センター会費助成450,000円(28団体)

注4) 4,000円×177名

注5) 10,000円×11団体

注6) 貯金利息17円、「近畿農協研究会の『還暦』を祝う集い」の残余金1,060円

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額 (a)	決 算 額 (b)	比 較 増 減 額 (b - a)	摘 要
研究例会費	700,000	622,267	-77,733	
会場費	160,000	148,250	-11,750	会場借上料
交通費	250,000	227,340	-22,660	座長、報告者等の交通費等
通信費	40,000	35,154	-4,846	開催通知発送費
印刷費	180,000	138,030	-41,970	開催通知、レジュメ等の印刷費
雑費	70,000	73,493	3,493	参加者飲料代等
研究大会費	450,000	397,587	-52,413	
会場費	100,000	68,740	-31,260	会場借上料
交通費	200,000	214,160	14,160	座長、報告者等の交通費等
通信費	30,000	16,923	-13,077	開催通知発送費
印刷費	80,000	71,500	-8,500	開催通知、レジュメ等の印刷費
雑費	40,000	26,264	-13,736	参加者飲料代等
運営委員会費	70,000	46,060	-23,940	
委員交通費	50,000	40,300	-9,700	
会議費	20,000	5,760	-14,240	会場借上料
会報費	1,010,000	905,600	-104,400	「研究会60年のあゆみ」の印刷費含む
印刷費	600,000	512,600	-87,400	
原稿整理費	180,000	180,000	0	60,000×3回
編集校正費	150,000	150,000	0	50,000×3回
執筆原稿費	80,000	63,000	-17,000	
事務局費	1,720,000	1,672,348	-47,652	
交通費	100,000	97,050	-2,950	農業開発研修センター事務局員等の交通費
通信費	150,000	190,355	40,355	会報発送等の通信費、HP運営費
印刷費	80,000	47,120	-32,880	事業報告・計画書等の印刷費
事務委託費	1,290,000	1,290,000	0	農業開発研修センターへの支払い事務委託費
会議費	50,000	16,980	-33,020	事務局会議の会場代等
雑費	50,000	30,843	-19,157	監査経費等
雑 損	0	0	0	
予 備 費	462,517	0	-462,517	
合 計	4,412,517	3,643,862	-768,655	

(3) 次年度繰越金 (単位：円)

収入の部合計	4, 2 8 8, 5 9 4
支出の部合計	3, 6 4 3, 8 6 2
次年度繰越金	6 4 4, 7 3 2

2 貸借対照表

令和2年3月31日現在
(単位：円)

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	0	未 払 金 ^{注1)}	153,900
J A京都信連 普 通 預 金	210,982	前 受 金 ^{注2)}	4,000
J A滋賀信連 普 通 預 金	583,990	次 年 度 繰 越 金	644,732
ゆうちょ銀行 振 替 口 座	7,660		
未 収 金	0		
合 計	802,632	合 計	802,632

注1) 未払金……………会報費 印刷費 (会報No.265) 141,900円
事務局費 通信費 12,000円

注2) 前受金……………令和2年度個人会費 (大学等) 4,000円

監事の意見書

令和元年度の事業報告および収支決算報告書につき、令和2年4月2日および3日に監査を行いました結果、事業運営は適切に行われ、収支決算についても、その内容は適正に処理されていることを認めます。

令和2年4月3日

監 事 小 西 忠 之 ⑩

監 事 大 西 敏 宏 ⑩

Ⅲ 令和2年度事業計画

1 基本方針

(1) 研究例会及び研究大会の開催

① 年間統一テーマ及び研究会テーマ

今年度は、年間統一テーマを「JAの社会的価値の再考」として例会を開催する。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会経済情勢の激変を受け、新型コロナウイルスを巡る課題とその対応策をテーマとした緊急特別例会も開催する。

第1回例会では「農業・食料問題解決に果たすべきJAの使命と役割を再考する」をテーマに、第2回例会では「暮らし・地域活性化に果たすべきJAの使命と役割を再考する」をテーマに研究・討議する。ただし、今年度は、第1回例会の前に緊急特別例会が開催されることから研究大会は開催しない。

なお、それぞれの研究会の具体的な持ち方については、開催府県の意向にも配慮しつつ、運営委員会での慎重審議により決定する。

また、新型コロナウイルス感染予防のため、研究会開催会場の対応はもとより、参加者・講師への対応についても徹底を図ることとする。なお、今後の感染拡大の状況によっては、参加者・講師への感染予防のため、研究会を延期または中止とする。延期または中止の判断については、開催府県の意向も踏まえた上で、研究会開催の2～3か月前を目安に代表者に一任する。

② 研究例会の位置付けと開催回数

研究例会は、域内の実践者と研究者からの報告をもとに、会員相互の研究会として運営することを基本とする。今年度も2回開催する。

③ 研究例会の運営

例会および大会の開催曜日・時間は参加者アンケート結果等をもとに、今年度も平日の午後1時から行いが、会場の片付けおよび研究例会・研究大会後に開催される運営委員会をスムーズに行うため、終了時間については午後4時40分とする。

また、報告に基づいた参加者からの積極的な質問・討論を促すため、それぞれの報告の直後にコメンテーターからの質問・コメントおよび参加者を交えた討論を行う。また、参加者からの質問時間を十分に確保するためコメンテーターを原則1人とする。

(2) 会報の定期発行と内容の充実

① 会報の定期発行

事務局内に編集担当者を置き、会報の定期発行に努める。

② 会報内容の充実

「会員の声」「研究会に参加して」のコーナーを設け、会員参加による会報づくりに努めるとともに、会報の充実に努める。

(3) 組織の拡大と研究成果の普及

① 会員拡大

保管している会報の一部をPR誌として活用して、研究会活動の普及と併せて会員の拡

大に積極的に努める。また、研究会開催案内やさまざまな機会を通じて、会員拡大に努める。

② 研究例会開催案内等の充実

研究例会の開催案内をスムーズに行う。特に、広域合併 J A との連携を密にして、基幹支所等にも開催案内を配布する等、研究会の参加促進を図る。なお、個人会員に開催案内（所定の葉書）を届ける。

③ 会報頒布

研究例会の研究成果を広く普及するために、会報の頒布に努力する。

④ 会員管理

2年を越えて会費未納となっている会員に対しては、会報の送付を停止するとともに、加入意思の確認を行い、会員管理を徹底する。

(4) 会員の意向把握と事務局会議の機能強化

① アンケート調査

研究例会の出席者に対するアンケート調査を実施し、出席者の研究会への意向把握を行い、企画・運営に反映させることに努める。

② ホームページによる情報発信

オリジナルホームページを通じて、引き続き例会・大会の開催案内をはじめ研究会活動の情報発信を行う。

③ 事務局会議の拡充と機能強化

事務局会議の定期開催に努め、事務局会議の機能強化と業務の円滑化を図る。本年度も引き続き、各府県中央会および（一社）農業開発研修センターの協力を求める。

2 実施計画

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大への対応策を討議するための緊急特別例会を開催し、その後の研究例会は本年度も2回開催するが、研究大会は開催しない。

(1)緊急特別例会の開催

回次	開催月日	テーマ（仮題）	会場
緊急特別例会 (通算第266回)	令和2年 8月4日(火)	新型コロナ禍を巡る農業・食料問題とその対応策を考える	奈良市

注) 緊急特別例会の詳細な内容は、第1回運営委員会において協議の上、決定する。

(2)研究例会の開催

☆年間統一テーマ「JAの社会的価値の再考」

回次	開催月日	テーマ（仮題）	会場
第1回研究例会 (通算第267回)	令和2年 11月9日(月)	農業・食料問題解決に果たすべきJAの使命と役割を再考する	大津市
第2回研究例会 (通算第268回)	令和3年 2月15日(月)	暮らし・地域活性化に果たすべきJAの使命と役割を再考する	京都市

注) それぞれの例会の詳細な内容は、第1回研究例会は第2回運営委員会において、第2回研究例会は第3回運営委員会において協議の上、決定する。

(3)会報の発行予定

会報No.	発行予定年月	発行予定部数	備考
266	令和2年 11月上旬	320部	令和2年度緊急特別例会記録
267	令和3年 2月上旬	320部	令和2年度第1回研究例会記録
268	令和3年 5月中旬	320部	令和2年度第2回研究例会記録

Ⅳ 令和2年度予算計画

(自：令和2年4月1日 至：令和3年3月31日)

(1)収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	摘 要	前年度予算額
会 費	3,007,000		3,023,000
全国連会費	440,000	注1) 参照	440,000
府県連会費	1,100,000	注2) 参照	1,100,000
単協会費	649,000	注3) 参照	649,000
個人会費	708,000	注4) 参照	724,000
準会員会費	110,000	注5) 参照	110,000
会報頒布収入	20,000		20,000
資料代収入	500,000	注6) 参照	500,000
雑収入	1,000	貯金利息等	1,000
前年度繰越金	644,732		868,517
合 計	4,172,732		4,412,517

注1) 110,000円×1団体、100,000円×1団体、90,000円×1団体、70,000円×2団体

注2) 50,000円×22団体(府県連12+府県本部10)

注3) 36,000円×1団体、25,000円×1団体、18,000円×4団体、15,000円×2団体、
12,000円×3団体、農業開発研修センター会費助成450,000円(28団体)

注4) 4,000円×177名

注5) 10,000円×11団体

注6) 資料代単価は、個人会員2,000円、団体会員3,000円、非会員5,000円

(2)支出の部

(単位：円)

科目	予算額	摘要	前年度予算額
研究例会費	700,000		700,000
会場費	160,000	会場借上料	160,000
交通費	250,000	座長、報告者等の交通費等	250,000
通信費	40,000	開催通知発送費	40,000
印刷費	180,000	開催通知、レジユメ等の印刷費	180,000
雑費	70,000	参加者飲料代等	70,000
研究大会費 ^{注)} (緊急特別例会費)	310,000		450,000
会場費	10,000	会場借上料	100,000
交通費	150,000	座長、報告者等の交通費等	200,000
通信費	20,000	開催通知発送費	30,000
印刷費	90,000	開催通知、レジユメ等の印刷費	80,000
雑費	40,000	参加者飲料代等	40,000
運営委員会費	70,000		70,000
委員交通費	50,000		50,000
会議費	20,000	会場借上料	20,000
会報費	1,010,000		1,010,000
印刷費	600,000	200,000×3回	600,000
原稿整理費	180,000	60,000×3回	180,000
編集校正費	150,000	50,000×3回	150,000
執筆原稿費	80,000		80,000
事務局費	1,760,000		1,720,000
交通費	100,000	農業開発研修センター事務局員等の交通費	100,000
通信費	190,000	会報発送等の通信費、HP運営費	150,000
印刷費	80,000	事業報告・計画書等の印刷費	80,000
事務委託費	1,290,000	農業開発研修センターへの支払い事務委託費および事務局長手当	1,290,000
会議費	50,000	事務局会議の会場代等	50,000
雑費	50,000	事務局会議の飲料代等	50,000
予備費	322,732		462,517
合計	4,172,732		4,412,517

注) 今年度は研究大会費を特別研究例会費に充てる

V 令和2年度会費基準の設定について

(1)個人会員 4,000円

(2)単協会員

正組合員戸数 3,000戸未満	12,000円
3,000～5,000戸未満	15,000円
5,000～10,000戸未満	18,000円
10,000～30,000戸未満	25,000円
30,000～50,000戸未満	36,000円
50,000戸以上	72,000円

注1) 正組合員戸数は、「令和2年版 都道府県農業協同組合名鑑」(日本農業新聞、令和2年1月)記載の戸数(令和元年11月1日現在)に基づく。

注2) 一般社団法人農業開発研修センター(以下、センターという。)と近畿農協研究会の会員となっている近畿6府県内JAについては、センターから当研究会への助成により、近畿農協研究会から会費を請求しない。

(3)府県団体会員 50,000円

(4)全国団体会員 別 途

(5)准会員 10,000円